

平成23年2月秋田市議会定例会一般質問者順序

秋 水 会 菅 原 琢 哉

フ ォ ー ラ ム 2 1 人 見 高 司

共 産 党 佐 藤 純 子

護憲・わんぱくの会 倉 田 芳 浩

秋 水 会 佐 々 木 晃 二

秋 水 会 榎 清

秋 水 会 長 谷 川 昭 一

1 本市の成長戦略について

(1) 都市イメージ「ブランドあきた」の確立について

ア 本市のオリジナルイメージとは具体的にどのようなものか

イ 第29回国民文化祭について

(ア) 開催地内定前に県との情報交換はどの程度なされたのか

(イ) 本市は具体的にどのようにかかわるのか、また、財政支出の想定はできているのか

(ウ) 本市における経済効果はどれくらい見込まれるのか

(2) 地域産業の競争力強化について

ア 本市の米を除いたカロリーベースの食料自給率はどうか

イ 米依存からの脱却と転作作物の拡大推進を目指す県の方針に対し、本市の農業施策として、どのように取り組んでいくのか

(3) 観光あきた維新について

ア 本市観光ポータルサイト「アキタッチ」について

(ア) 東京の会社と契約した理由は何か、また、契約形態はどうなっているのか

イ 秋田観光コンベンション協会との連携はどのように考えているのか

(4) 環境立市あきたの実現について

ア K I T A S K A 及び（仮称）秋田市にぎわい交流館は、環境関連施策を総動員した施設になっているのか

イ 新庁舎における総動員した環境関連施策とは何か

ウ 本市が実施している「エコ通勤ウィーク」の効果について

エ （仮称）ノーマイカー通勤チャレンジ事業を実施する考えはないか

(5) エイジフレンドリーシティの実現について

ア エイジフレンドリーシティと障がい者、子育て中の親、子供、誰にでも優しいまちづくりは切り離して考えるべきと思うがどうか

(6) 次世代の育成支援について

ア 少年指導委員を減員したのはなぜか

2 県都『あきた』成長プラン推進計画について

(1) 緑あふれる環境を備えた快適なまちについて

ア 北部地区墓地整備事業について

(ア) 市民の意見を聴取し、規制墓地とするのかどうかを決定すべきではないか

イ 上下水道施設を含む公共施設の老朽化対策について

(2) 健康で安全安心に暮らせるまちについて

ア 自殺予防対策として、男性更年期障害（ＬＯＨ症候群）を広く啓発すべきではないか

イ ワクチンで防げる病気（ＶＰＤ）への関心を高めるべきではないか

ウ 救急・救命体制の整備について

(ア) 今後の救急車の整備計画について

エ 町内防犯灯のＬＥＤ化について

(ア) 省エネルギー効果について、どのように検証するのか

(イ) ＬＥＤの色は防犯効果の高い青色とすべきではないか

オ 除排雪について

(ア) トラクターに取りつけられる除雪機材を貸し出し、ボランティアで道路や学校、病院等の除排雪をしてもらうことについて検討する考えはないのか

(イ) 本市で配付した凍結抑制剤の利用状況は把握できているのか、また、塩害はないのか

(ウ) 排雪を減らすために、自宅の庭に雪像やかまくらをつくってもらうようなイベントを企画する考えはないのか

(3) 家族と地域が支えあう元気なまちについて

ア いきいき長寿祝い事業について

(ア) 米寿のお祝いの見直し内容について

(1) 見直し内容を再考する余地はないのか

イ 老人クラブ補助事業について

(ア) 老人クラブへの補助金は一律であるが、会員数による傾斜配分が妥当と考えるかどうか

ウ 所在不明者問題について

(ア) 本市における所在不明者の現状について

(1) チェック体制はどうなっているのか

(4) 人と文化をはぐくむ誇れるまちについて

ア 学校緊急連絡網について

(ア) なぜ教育委員会で対応できないのか

イ はばたけ秋田っ子ネットについて

(ア) 情報統計課のサーバーを利用せず、教育委員会が外部委託してまで独自のサーバーを持たなければならないのはなぜか

ウ 本市の教員定数は適正か、また、教員OBを再雇用している事例はあるのか

エ 児童館の運営について

(ア) 緊急時のためのファクスを設置できないのはなぜか

(1) 運営委員会に対する謝金はどのような経緯で支払われるようになったのか、また、2回減額されている理由は何か

(ウ) 謝金は一律ではなく、規模等に応じて傾斜配分すべきではないか

3 首長の退職金について

4 窓口業務について

(1) 市民サービスセンター等で取得できない市民向けの証明書について

ア どのようなものがあるのか、また、取得できない理由は何か

イ 取得できるよう改善することはできないのか

(2) 高齢者にやさしい窓口について

ア 各種申請や更新手続時の添付書類のうち市で発行するものについ

ては、市側で確認をとるようにできないのか

(3) 新庁舎での窓口業務について

ア ワンストップ化を目指すべきと思うがどうか

5 庁内業務のチェック体制について

(1) 不適正な事務執行を未然に防止するためのチェック体制をどう構築していくのか

1 市長の政治姿勢について

- (1) 選挙の効力に対する見解及び市長のマニフェストについて

2 秋田公立美術工芸短期大学の4年制大学化について

- (1) 「私も副市長も、職を賭してという思いがある」との報道について
- (2) 市長のマニフェストの中での4年制大学化の優先順位について
- (3) 平成25年4月の開学時期を急ぐ理由について
- (4) 短大として持続できない理由について
- (5) 美短を廃止する考えについて
- (6) 高等教育を市で行う必要性について
- (7) 大学院の開設及び費用負担等について
- (8) 4年制大学化することが、市税の使い道として妥当か
- (9) 4年制大学化について、市民の理解を得ていると考えているのか

1 市長の政治姿勢について

(1) 「税と社会保障の一体改革」について

ア 民主党政権が進めようとしている「税と社会保障の一体改革」についての市長の見解はどうか

(2) T P P 参加について

ア T P P 参加が地域の産業・経済、国土、環境などへ及ぼす深刻な影響をどう考えているのか

イ 農業県都の市長としてT P P 参加反対の先頭に立つべきと思うがどうか

2 平成23年度当初予算について

(1) 本市の予算を開発・都市整備型から、農林水産業費、商工費を重視する地域経済活性化型へ転換すべきと考えるがどうか

(2) 「住宅リフォーム支援事業」を地域経済活性化の施策として行い、さらに助成限度額を引き上げるなど、より一層の制度の拡充を行うべきではないか

(3) 今後、本市が伸ばすべき地域産業として林業を重視し、林業従事者の増加目標をもっと積極的なものにすると同時に、後継者の育成を具体的に進める必要があるのではないか

3 秋田公立美術工芸短期大学について

(1) 4年制大学化によって、他県からの志願者がふえ、秋田市民が一層入りにくくなると予想されるが、そのための多大な出費は市民が納得するのか、また、本市財政が困難な中で、4年制大学化への移行費用や大学院設置費、その後の持続的な大学運営費の経費などの負担は、市民の理解が得られるのか

(2) 議会や市民の中での議論も深まっておらず、拙速に結論を出さず再検討すべきではないか

4 ごみ減量への取り組みについて

(1) 減量目標を達成するための組成別の目標と市の取り組みを明確にして、進めるべきと思うかどうか

(2) 生ごみの減量について

ア エコを意識した献立や料理方法など、市民が意識的に取り組めるようなきっかけづくりに努力すべきと思うかどうか

イ 生ごみ処理機などの機器の購入に助成する考えはないか

ウ 事業系ごみの排出量などの実態調査に取り組む考えはないか、また、生ごみの再利用について研究を始めてはどうか

5 安心できる国民健康保険制度について

(1) 国民健康保険税について 1 世帯 1 万円以上の引き下げを行う考えはないか

(2) 恒常的な貧困者も対象になるよう、一部負担金の減免について改善すべきと思うかどうか

6 子育て支援について

(1) 市長は「子ども・子育て新システム」をどのように認識しているのか

(2) 小学校卒業までの医療費無料化を実施できないか

(3) 就学援助制度に、クラブ活動費、生徒会費、PTA 会費も対象とすべきではないか

7 住宅用火災警報器の設置推進について

(1) 振動式など特別な警報器が必要な方への助成を行う考えはないか

8 地域の諸課題について

(1) マイタウン・バス南部線について

ア 四ツ小屋駅接続を乗りかえなしで秋田駅まで延伸できないか

イ J A や地域商工業者などとの協力体制をつくり、買い物や通院などへの交通手段を確保するよう検討できないか

1 市長の政治姿勢について

- (1) 本定例会の市長説明における「国民一人ひとりの自覚と責任が問われる年」「時として痛みを伴うものであっても」の部分について、具体的な内容は何か
- (2) 消費税増税及びＴＰＰ交渉に対する市長の認識はどうか、また、本市の考えをまとめ国へ要望すべきではないか
- (3) 常設型住民投票条例を制定すべきと考えるがどうか
- (4) 職員の不祥事が多発する原因と再発防止への取り組みについて

2 教育行政について

- (1) 教育委員の報酬を見直すべきと考えるがどうか
- (2) 新成人のつどいについて
 - ア 今後のあり方をどのように認識しているのか
 - イ 会場警備に当たった秋田県警の人数及び事後検証と評価について

3 秋田公立美術工芸短期大学について

- (1) ４年制大学化に職を賭してとのことであるが、その真意は何か
- (2) 美短に対する市長の思いは、４年制大学の開学ですべて完結するのか
- (3) 教員及び学生について、住民票に記載のある住所を把握しているのか

4 中通一丁目地区市街地再開発事業について

- (1) 建設工事費が適切であるという根拠について
- (2) 2011年２月現在の費用便益比について
- (3) 商業施設のテナント募集状況はどうか、また、商業施設が破綻した場合、本市、秋田まちづくり株式会社、清水建設株式会社など本再開発事業関係者の責任の範囲と内容はどのようなになっているのか

- (4) 清水建設株式会社が下請発注した入札結果について
- (5) 再開発組合と清水建設株式会社が工事請負契約を締結した際の工事種別ごとの単価について
- (6) 建設工事費における諸経費の内訳と金額について

5 本市の情報公開度について

- (1) 本市の情報公開度の自己採点について

1 市長の政治姿勢について

(1) 地方分権について

ア これまでの地方分権改革の動きに対する認識と今後目指すべき方向性について

イ 市長の理想とする住民自治の姿について

(2) 道州制について

ア 道州制を見据え、本市が独立性を発揮するためのあるべき姿について

(3) 現政権のマニフェストについて

ア 現政権のマニフェストに対する取り組みの評価について

(4) 市長公約について

ア 市長公約の達成度と自己評価について

イ 入札制度改革の成果について

ウ 最低制限価格制度の概要について

(5) 予算編成について

ア 平成23年度当初予算の編成に当たり、継続事業の見直しや新規事業の採択について、どのような視点に立って行ったのか

2 財政について

(1) 未収金対策室設置の効果について

ア 本年度における未収金の収納率の目標と達成度について

イ 収納率向上のための対応策とその成果について

ウ 平成23年度の収納率の目標設定について

3 中通一丁目地区市街地再開発事業について

(1) 現時点における進捗状況と完成までのスケジュールについて

(2) 本事業の財源と後年度の本市負担の見通しについて

(3) にぎわい創出事業の概要について

4 秋田公立美術工芸短期大学の4年制大学化等について

- (1) なぜ、芸術・文化をいかしたまちづくりを進める必要があると考えるのか
- (2) 市と大学の取り組みや連携のあり方の具体的なイメージについて
- (3) 公立大学法人化には、芸術・文化をいかしたまちづくりに貢献できる大学とするに当たってどのようなねらいがあるのか
- (4) 平成25年開学を目指す理由について

5 包括外部監査の指摘事項等への対応について

- (1) これまでの包括外部監査の指摘事項等への対応と措置状況について
- (2) 職員互助会に関する指摘事項等への対応について

6 地域福祉の推進について

- (1) 民生委員に対する指導・監督について
- (2) 地区の民生児童委員協議会への指導・助言について

1 市長の政治姿勢について

- (1) 現状の国政をどのように見ているのか
- (2) T P P に対する政府の姿勢をどのように見ているのか
- (3) 職員の不祥事に対する市長の判断について

2 山林に対する取り組みについて

- (1) 市有林を市民に開放し、有効活用を図るべきではないか
- (2) 市有林を含めた秋田杉を新庁舎建設に使用すべきでないか
- (3) ペレットストーブの普及を図るためにどのような取り組みを考えているのか
- (4) 森林、林業体験学習に取り組むべきではないか

3 農業問題について

- (1) 新しい風に取り組むべきではないか
- (2) 本市独自の発想で、農業政策に臨むべきではないか

1 市長の市政運営の基本姿勢について

(1) 秋田スギ大規模製材工場建設支援について

ア 大規模製材工場関連予算を平成23年度当初予算に計上しなかった背景について

イ 大規模製材工場関連予算の予算計上の時期及び予算額について

(2) 市民協働・都市内地域分権の確立に向けた基本姿勢について

(3) 市場公募債の発行について

2 教育について

(1) 教職員の人事権の移譲について

(2) いじめの実態と防止策について

(3) 中学校における武道必修化について

ア 弓道の導入について

イ 武道必修化の実施時期及び体制整備について

3 未収金対策について

(1) 平成22年度の徴収実績と課題及び平成23年度に向けた未収金対策の取り組みについて

4 福祉について

(1) 地域包括支援センターの体制強化について

(2) 児童虐待の実態と防止策について

5 「水」に関する課題について

(1) 外国資本による山林買収の動向に対する認識について

(2) 余裕水の活用について

(3) 内水はんらん対策について

6 地上デジタル放送への完全移行について

- (1) 地上デジタル放送への円滑な移行に向けた取り組みについて

7 産業と観光の振興について

- (1) 秋田湾産業新拠点の有効活用に向けたこれまでの取り組みと今後の計画について
- (2) 道の駅あきた港の利用者数の推移と課題について

8 投票率向上に向けた対策について

- (1) 期日前投票の実績と効果について
- (2) 効果的な選挙啓発対策について
- (3) 地域の実情に即した投票所の設置について